2021 October
288号
10月
はあもにい
●医療法人創和会広報誌はぁもにい / 発行 医療法人創和会 理事長 重井文博
令和3年10月1日発行

第62回全日本病院学会 in 岡山(8月21日・22日)実行委員長を終えて

理事長　重井 文博

実行委員長の話があったのは平成30年12月。同年7月の西日本豪雨災害（倉敷市真備の洪水等）より半年後のことですから、オリンピックと同じくコロナ禍での開催延期を挟み、かれこれ2年9か月になります。もう昔過ぎて、始めの頃を思い出せないくらいです。原稿用紙2枚くらいでは話しきれないほど色々あったのですが、いやもう思い出したいとも思わない。高校生の3年間ならともかく、長すぎた。もう最初と最後だけでいいでしょう。

平成31年2月より月1回、岡山県医師会館で合計30回に及ぶ実行会議を開催。2か月に1回、東京JR水道橋駅近くの全日病協会本部での学術委員会（令和2年6月からはコロナ禍でリモート会議に）に出務し、提案と報告を繰り返しました。その間にコロナ禍の状況により通常学会の形態、未知であるハイブリッド、完全Webのどれを選ぶか。それぞれ掛かる費用額は？参加者数の見通しは？Web開催で協賛は得られる？岡山市がロックダウンしたら？それぞれにバリエーションも山ほど考えられ、行ったり来たりと決められなかった。最終的には、知事からのそれこそ直前の要請で、開催1週間前にハイブリッドから完全Web開催へ変更となりました。そして岡山は学会終了4日後に「まん延防止等重点措置」から「緊急事態措置」に移行しました。この3年弱、大勢の方々と時間を共にし、沢山アドバイスをいただき、皆で思案を重ねました。誠に申し訳ないですがここでまとめて、ご支援いただいた大勢の皆様に心より御礼申し上げます。また、演題発表の創和会しげい病院32名、研究所附属病院23名の諸君に感謝します。私の開会式での出番は上半身だけでよかったのですが、閉会式ではセリフ有りで緊張しました。以下はスピーチメモです。

閉会の挨拶 8/22（実行委員長）

13の学会講演・シンポのタイトルに「コロナ」とあるのが9題に及びました。まさに進行形のコロナとの戦いで、全国からここ岡山にリモートで集結し、タイムリーな学会となりました。参加登録数は、目標の1,500名を超えて1,613名以上。前回愛知の2,400名には及ばずも、嬉しい限りです。現場で忙殺される中、参加そして出演いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。岡山は急激な感染拡大により、急遽やむなく1週間前での完全Web開催への変更となりました。にもかかわらず、多数の協賛企業の皆様において、友情とも言える協賛継続を申し出ていただきました。心より感謝申し上げます。

皆さま、（パンと一度だけ手を叩く）一丁締め、そのあと親指を立てて「Good luck!」のご唱和で締めたいと思います。「それではお手を拝借、よお～　パン」。親指立てて「Good luck!」…「ありがとうございました。」

（2ページへ続く）

閉会挨拶は以上ですが、終わりに一言。夏オリンピックとパラリンピックの間での開催となった酷暑の学会でした。オリ・パラ競技の無観客開催は、完全 Web 学会開催の我々と重なります。直前までの不安と苦労、葛藤は、きっと同じ。オリンピアン、特にパラリンピアンに感動をもらいました。大勢のボランティアの姿に感銘を受けました。そして、JOC 実行委員会の皆さんにエールを送りたい。君、良く戦ったと。

第 62 回全日本病院学会 in 岡山　報告

参加登録者数（人）［9月3日現在］

参加者区分	2021 岡山学会	2019 愛知学会
理事長・院長	240	231
上記以外の会員	1,132	1,673
一般（非会員）	241	541
その他（学生）	ー	18
合　　計	1,613	2,463

↑　上記参加者の内、約 1/3 が岡山県分

演題登録数（題）

参加者区分	2021 岡山学会 （　）内は岡山県分	2019 愛知学会
口　演	300（ 77）	545
ポスター（※）	226（ 91）	140
合　　計	526（168）	685

※ 岡山学会は、WEB デジタルポスター

岡山学会参加登録者区分割合［8月10日時点、判明分のみ］

区　　分	割合（計 100%）
理事長・院長	18.4%
医師・歯科医師	8.0%
看護師・保健師・助産師	23.8%
看護助手	0.3%
薬剤師	2.7%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	9.6%
栄養士・管理栄養士	2.2%
救急救命士	0.3%
診療放射線技師	3.1%
臨床検査技師	3.0%
臨床工学技士	2.2%
MSW・社会福祉士	1.4%
介護支援専門員・ケアマネージャー	0.7%
介護福祉士	1.6%
診療情報管理士	1.7%
事　　務	20.9%

企　画　数

区　　分	2021 岡山学会	2019 愛知学会
学会企画	13	14
委員会企画	17	16
合　　計	30	30

協賛企業／申込ベース

区　　分	2021 岡山学会	2019 愛知学会
共催セミナー （愛知はランチョンセミナーのみ）	25 社	22 社
企業展示	33 社	51 社

創和会関連分

	登録者数（人）	演題登録数（題）
しげい病院	68	32
研究所附属病院	62	23
創和会本部	9	1
合　　計	139	56

発表者と演題

しげい病院：一般演題口演	
回復期リハビリテーション病棟における透析患者の実績指数（2017 年と 2020 年の比較）	診療部 清水　弘毅
新型コロナ感染症（COVID-19）後に回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションを行った 6 症例	診療部 清水　弘毅
認知症サポートチーム活動における電子カルテシステムとの連携 ～診療報酬加算を活用してケアの質向上を～	看護部 土師みちる
当院職員の 4 種ウイルス抗体価について	検査健診部 三成　彩女
当院職員健診におけるインボディ検査の有用性	検査健診部 古吉　明美
初診外来開設による待ち時間短縮に向けた取り組み	医療支援部 財前　友美
血液透析を必要とする COVID-19 患者受入病棟におけるネットワークカメラを用いた感染リスク軽減の取り組み	IT 推進・情報管理室 渡邊　翔子
しげい病院：WEB デジタルポスター	
西日本豪雨災害における当院の医療支援と回復期リハビリテーション病院としての災害への備え	診療部 外薗　昭彦
長期療養患者・家族の退院支援を振り返る ～退院前後の思いの聞き取り調査から～	看護部 三宅久美子
発熱外来を運用して ～当院の発熱外来診療の実際と今後の課題～	看護部 吉本　裕美
院内デイケア立ち上げから約一年の活動報告 ～安心して療養生活を過ごしてもらうために～	看護部 髙岡　弓子
身体拘束（両手ミトン）をしない看護をめざして	看護部 坂田　理恵
家族へのスピリチュアルケアとは －自責の念に苛まれる家族への看護－	看護部 水本　裕子
よりそい活動による効果と今後の課題	看護部 和田　由紀
外来透析患者のポリファーマシー改善に対する取り組み	看護部 井上　宏美
障害者施設等病棟での退院支援 ～ NPPV 装着患者の退院支援の取り組み～	看護部 宮本　花恋
当院の回復期リハビリテーション病棟における薬剤師の取り組み	薬剤部 米山由理加
当院放射線部における近隣医療機関訪問活動の効果について	放射線部 藤井　裕三
CKD-MBD データ管理による効果の検証 ～スタッフ向け意識調査～	臨床工学部 小林　真弓
標準プロトコル更新による安全確保と業務改善	臨床工学部 見持　好美
当院リハビリテーション部の管理体制再考 ～役職者の超過勤務時間削減を目指して～	リハビリテーション部 西濱　美絵
当院リハビリテーション部におけるリスクマネジメント　～傾向と対策～	リハビリテーション部 東山　由記
回リハ病棟の実績指数向上におけた適切な除外判定因子の検討 －入棟期限 90 日の対象疾患に着目して－	リハビリテーション部 岩長　留美
訪問リハビリテーションと痙縮外来との連携が社会参加に繋がった 1 症例	通所・訪問リハビリテーション部 平野　圭二
当院通所リハビリテーションにおける短時間化への移行経緯および経過の考察	通所・訪問リハビリテーション部 松岡　繁生
通所リハビリテーションにおけるノルディック・ウォーク ～活動・社会参加支援の取り組み～	通所・訪問リハビリテーション部 立川　真也
当院における職員特定保健指導の取り組み	栄養管理部 秋山　沙希
省エネ活動「もったいないプロジェクト」15 年間の総括 － 7,600 万円削減、省エネ未実施コスト差額 27,000 万円－	医療支援部 吉田　和明
医事課小集団（未収チーム）活動の取り組み ～個々の督促業務からチームでの活動へ～	医療支援部 三谷　佳子
当院における安否確認システムの取り組み	医療支援部 比津　守弘
診療秘書課の業務範囲と今後の課題点 ～アンケート結果より見えたこと～	医療支援部 有馬　里香
A 訪問看護ステーションにおける看看連携のあり方の検討	訪問看護ステーション 黒木　妙子

研究所附属病院：一般演題口演	
薬剤エラー防止に向けた取り組み	看護部 長尾　雅子
当院における血管造影装置での転落防止への取り組み ～専用の手術板を製作して～	放射線部 丸尾　憲一
薬剤部・臨床検査部協働の ICT 活動紹介と 2020 年厚労省 AMR 対策達成状況報告	臨床検査部 松本　浩一
当院における病棟担当療法士の取り組み ～病棟との連携に向けて～	リハビリテーション部 松久保　稔
医療現場に求められるリハビリテーションマネジメントの現状と課題 ～退院前訪問から見えてきたもの～	リハビリテーション部 石井　勇貴
周術期管理センターの活動 食道がん術後の早期ダンピング症候群に対する食事指導の一例	栄養管理部 多田　仁美
当院における文書管理システムの導入 ～診療情報管理士としての他部署支援～	事務部 井上　有紀
研究所附属病院：WEB デジタルポスター	
当院でのベッドコントロールの取り組み	看護部 森安香緒里
看護師特定行為研修後の院内活動実績と今後の課題	看護部 三澤　裕美
障害者施設等病棟におけるスキン－テアの現状について ～予防ケアチームの取り組みを通して～	看護部 千田　京子
地域包括ケア病棟における院内デイケア導入の取り組み	看護部 産賀　知子
CKD チームにおける透析室看護師の役割	看護部 前川　富美
ライフスタイルに合わせた在宅血液透析導入に向けての取り組み	看護部 藤野　理加
透析患者における高リン血症フローチャートを用いた CKD-MBD の複合的介入	看護部 稲野　茂行
身体拘束ゼロ宣言後、当病棟のミトン廃止に向けた取り組みについて	看護部 有元　彩奈
認知症患者の日常生活環境の整備に対する更衣チームとしての取り組み	看護部 横田　美春
当院のがん薬物療法における曝露対策	薬剤部 尾崎　友美
当院における労働者の健康管理 職員健康意識調査の結果から見えてきたこと	臨床検査部 重松由美恵
当院における CPAP 遠隔モニタリングシステム導入への取り組み	臨床工学部 岩田　聡子
外科術後患者における在宅復帰に向けた身体機能と精神機能の回復について	リハビリテーション部 菊川　智
小児入院患者の院内多職種連携について	小児療育部 日笠　智美
当院における勤務表作成支援システム（セルヴィス EX）の導入 ～病棟管理者の業務軽減～	事務部 小原　哲夫
院内物流システムの導入 ～ラベル管理による物品管理～	事務部 目黒　将志

創和会本部：一般演題口演	
2020 年からの当法人における障がい者雇用取り組みについて －経緯・現状・今後の課題と展望－	人事部 芳本　徹

いつもお世話になります！しげい病院

営業担当 西森英治さんに質問

Q&A

営業担当
西森英治さん

Q 毎月の献立はどのようにして決めていますか？

A 普段不足しがちな野菜を多めに入れるようにしつつ、栄養バランスに気を付けて決めています。

Q しげい病院向けに特にこだわっていることは何ですか？

A 通常メニューと低カロリーメニューの２種類を用意し、月に数回カレーなどの特別食をメニューに組み込んでいます。また、定期的に意見交換をさせていただき、少しでもご期待に添えるよう努力しています。

総務の河原課長・
三宅さんと打ち合わせ

Q OMG!! 今までで最大のハプニングは？

A 中華丼の日。12：40 頃、「中華あんが足らない！」と気付き、すぐに追加を持ってきてもらったが、その追加でも足らず再度持ってきてもらい、なんとか食数分の中華丼を提供できた。原因は中華あんのとろみの加減で、それ以来、量だけでなく「とろみ」の確認もするようになった。あの日の伊藤（きみちゃん）の笑顔はひきつっていたことだろう（笑）

Q どのような所で食事を作っていますか？

A 大量の食材を一度に調理できる大きな器具と、多くのお弁当を流れ作業で配膳できるベルトコンベアを設置した工場で作っています。

Q 人気メニューは何ですか？

A 定番のカレーライスとうどんが人気です。低カロリーメニューではとん平焼きや鶏と竹輪の中華あんかけが人気で、あっという間になくなりますので、ぜひお早めに！

カレーライス

天ぷらうどん

とん平焼き

竹輪の中華あんかけ

西森英治さんからのメッセージ

コロナ禍という過酷な状況の中、日々尽力してくださっている皆さま、本当にお疲れさまです。そんな皆さまに敬意を込め、これからもおいしいお弁当を作っていきたいと思います！

職員食堂委託“株式会社のぞみ”さん

伊藤紀美子さん
（通称「きみちゃん」）
勤務歴：10年
趣味：韓国ドラマ

しげい病院 職員食堂担当
きみちゃんの一日

9:00
出勤後、早速コーヒーの準備

コーヒーは季節に合わせて、豆の配合を変えています！

きみちゃんブレンド、皆さんどうですか？

10:00
食事が到着。配送の野﨑さんとセッティング

今日は、おかずを190セット・お味噌汁のお鍋が4個・ご飯は10 kg ×4 セットを準備。お味噌汁のネギも事前にお椀にセット。

10:40
総務に連絡

総務課 長谷川さんが、納品個数を確認

11:00
食堂オープン

お疲れさまです！いつもありがとうございます (^∀^)

14:00
片付け

アルコール消毒よし！今日もきれいになりました！

15:00
終了

毎日、皆さんと色々なお話しをできるのを楽しみに出勤しています。これからも皆さんがホッと一息休憩できたり、居心地の良い食堂になるよう、スタッフみんなで頑張っていきたいと思います！

今日も一日、お疲れさまです！

食堂の椅子と机をリニューアルしました!!

研究所附属病院　食堂運営検討チーム（事務部　係長補佐）　中谷 修子

2020 年 6 月から食堂運営検討チームを立ち上げ活動してきました。皆さんからのアンケートを基に改善に取り組んできました。お待たせしました!!

やっと 2021 年 9 月 9 日職員食堂の椅子と机をリニューアルし、職員の皆さんが快適に過ごせる空間になりました。

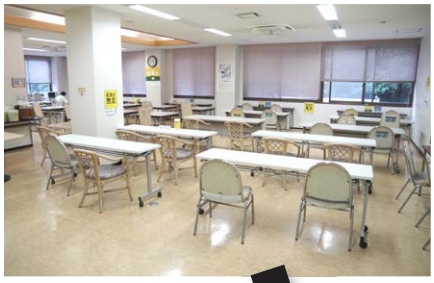
簡単にチームの活動内容を紹介します。

・2020 年 8 月 ～10 月、食堂利用者を対象に食堂メニューについてのアンケート調査
・2020 年 11 月、職員全員を対象に食堂運営についてのアンケート調査
・アンケート結果を基に、給食提供業者 大惣の管理栄養士さんと工場長さんとの意見交換

上記活動中のアンケートで皆さんからいただいた要望や疑問点は、1つずつ改善・解決してきました。

その中で一番難しいと感じたのは、食事の味付けやメニューに関する要望でした。美味しい・美味しくないの感覚は個人差があるため、全ての人の好みに合った食事の提供は難しいですが、人気の高いメニューや、味付けが濃い・薄い等を大惣さんと共有し改善してもらっています。皆さんにとっては、いかがでしょうか…

旧食堂



その中で沢山の方からご要望があったにも関わらず、着手できていなかった食堂の椅子と机のリニューアルがついに完了しました!!席数も 44 席から 50 席に増えています。

リニューアルにあたっては、コロナ禍で黙食が必須な今現在と、コロナが落ち着き楽しい会食が可能になる未来を想像しながら決定していきました。

コロナ禍の現在の机は感染対策のため、1人用の机で距離が確保されていますが、楽しい未来には 4 席をつなげて談笑しながらの会食が可能となります。

椅子は明るい印象となる様に、4色の椅子を配置しました。この 4 色を選択する際にはなかなか決まらず、イメージ画像を作成してみたり、業者さんからサンプルを取り寄せて無数の組み合わせでシミュレーションを試みながらやっと決定した 4 色です。

皆さん、いかがでしょうか？

さらに背部はバッグ等を掛けることができる仕様となっていて、机が小さくなった分、利便性を考慮して選定しました。

皆さんからのご要望は今回の椅子と机のリニューアルで一通りの改善が完了しました。今後、改善後のアンケートを実施する予定です。また皆さんの声をお聞かせください。

最後に、食堂運営検討チームを立ち上げた際には芳本係長（現在は本部所属）がリーダーを務めてくださりました。その後私がリーダーを務めさせていただいているのですが、私は現在、人事交流でしげい病院勤務のため、その間は研究所附属病院　総務課の目黒係長がリーダーを務めてくださっています。感謝いたします。

新食堂

▲席数が 44 席から 50 席に増えました！ 4 色のカラフルな椅子をカラーで掲載できなくて残念

▲机の配置を変えることで、レイアウトも自由に変更可能。

▲背部はバッグ等を掛けることができる仕様。

公用車の新旧交代

創和会本部　経営管理部　田戸 康紀

８月27日（金）、新たな公用車としてホンダ・オデッセイがやってきました。長年にわたって活躍してくれたトヨタ・クラウンの老朽化による入れ替えです。

新車両の導入は創和会・しげい病院にとって数年来の課題でしたが、このたび担当として携わることになりました。

新しい車の選定にあたっては、

・役員や客人の送迎にふさわしい車両であること
・安全性能
・燃費等の環境性能
・外部供給電源を備えていること

などを要件として、いくつかの車種から絞り込んでいきました。

長らく役員車・送迎車として広く使われてきたクラウンですが、近年ではミニバンタイプ、特にトヨタ・アルファードが多く採用されているそうです。この度の選定でも候補として最終段階まで残りましたが、荷室の積載性や、特に燃費などの点からオデッセイが選ばれました。自然環境を大切にする経営方針をとる創和会らしい車選びになったかと思います。

オデッセイは、ミニバンとしては背が低めですが内部は広々としており、身長が高い男性でも十分にくつろげるだけの空間があります。他の特徴として、ハイブリッドカーならではの低燃費、低床・低重心からくる安定性や乗り降りの容易さ、３列目シートを床下に格納して現れるフラットで広い荷室、手をかざすだけで開閉するスライドドアなどがあげられます。自動ブレーキや周囲を見渡すカメラ、各種センサーなど安全装備も充実しています。しかし、最後に安全と乗り心地を担保するのはドライバーの役目ですから、ハンドルを握ったら機械やセンサーに頼り切ることなく安全運転を心がけることが大切です。

最後に、これまで長く働いてくれたクラウンに「ありがとう」の言葉を贈り、ねぎらいたいと思います。お疲れさまでした。

▲セダンからミニバンへの世代交代

▲ニューフェイス、オデッセイ

▲ディーラーによる操作説明

▲３列目シートを床下に格納するとフラットで広い荷室に

EAP相談室コラム

「働き方改革の時代をいきいき働く」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

「最近、ちょっと疲れ気味」「肌の調子が悪い」「肩こりや腰痛が酷い」など疲れや身体の変調を意識する方は多いかと思います。そういえば仕事が変わって忙しくて、身体をメンテナンスする時間がない、時間があれば休みたいと思う方も少なくないでしょう。一方で、自分の元気さや“活力のレベルは？”と考えることは少ないかもしれませんね。

働き方改革が求められるこれからの時代は、身体を労わりつつ懸命に働くだけでなく、いきいき働く“活力”が大切になってくるといわれています。そもそも働き方改革が提唱される背景には、近い将来に予想される人口減少に伴う国全体の生産力の低下を回避したい思惑があり、長時間労働の是正と生産性向上が具体的な取り組みとなります。業務量が多い状況かつ人が減っているのに労働時間を減らし、さらに生産性を向上させるのは無理難題のようにも思われます。

そこで、個々人で取り組める対策として“活力”に着目しようというわけです。勤勉な日本国民は目の前の仕事や問題を片付ける傾向が強く、余裕やゆとり、楽しみや活力を軽視する風潮があります。しかし発想を逆転させて、仕事やキャリアはもちろんのこと、ご自身や家族、プライベートの強みや良いところを見直し、伸ばすことを想像すれば、自然と働き方のウェイトが変わっていきます。

例えば、もともと得意なことで、さらに挑戦してみたいと思うようなことがあれば、少しずつ挑戦してみてください。学びたいことがあったら、時間を作り学びに行ってみてください。家族との時間をもっと大切にするようにしてみてください。実際に大切にしていることややりたいことを始めることにより、その時間を確保するために自ら仕事をうまくさばくようになり、タイムマネジメントも上手になっていくと思います。また、仕事から離れた新しい学びや体験は、特に付加価値が求められる仕事でのイノベーションに効果があると言われています。

まずは、多忙な中でもずっと前からやりたいと思っていたことの計画を立ててみてはいかがでしょうか。そこから、これからに向けての変化の一歩が始まります。ＥＡＰ相談室ではあなたの働き方の見直しについてのご相談も承っています。ぜひ、ご利用ください。

参考文献
島津明人　編者（2015）　職場のポジティブメンタルヘルス　現場で活かせる最新の理論　誠信書房

※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。

編集後記

●コロナでおうち時間が増え本を読む時間が増えました。
思わず「懐かしいぃ～」と手に取ったのが教科書に載っていた作品を集めた本でした。「ごんぎつね」「大造じいさんとガン」など何年生の頃だっけ?!と思いながら読んでいます。「注文の多い料理店」では鍵穴からギョロっとのぞく目玉の挿絵が恐ろしすぎて、そのインパクトが強く残っており、その後の救世主が現れた展開などすっかり記憶から消し去られていました。当時の感受性は今ではなくなっていると思われますが、授業のように受けているではなく、自分で選んだ物に対するワクワクで読み進めています。（すぐ読み終わりそうですが）ネットや本屋で買ったり、いただいたものの未だページをめくっていない本が何冊もあります。まだまだおうち時間を楽しめそうです。
（ＴＹ）

●子どもの頃、毎年秋になると家族みんなで稲刈りをしていました。近所のおじちゃんやおばちゃん達と話しながら、軽トラに座って一緒におにぎりを食べたりして過ごした時間が懐かしいです。実家を出てからは、稲刈りの手伝いどころか年に数回しか帰省できておらず、“きっと寂しがっているだろうな”と反省しています。そろそろ新米ができる頃なので実家から送られてくるのが楽しみです。今家にあるお米のストックを一生懸命消費し、新米を迎えたいと思います。
（ＭＹ）

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「萩日和の里山を楽しむ」

日時：10 月 10 日（日）
10：00 ～ 12：00

会場：重井薬用植物園

医療法人 創和会

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

重井医学研究所附属病院
〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

重井医学研究所
〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

岡山しげい訪問看護ステーション
岡山しげい居宅介護支援事業所
〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

倉敷しげい訪問看護ステーション
倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園
〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

倉敷昆虫館
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207